

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらし・防災・環境](#) > [防災](#) > [くらしの防災](#) > > [林野火災に対するチェックポイント](#)

重要なお知らせ

岐阜県議会答弁速報

知事記者会見「政策オリンピック「アグリパーク重点推進モデル」募集他」

林野火災に対するチェックポイント

記事ID：0005566 2021年5月21日更新 防災課

林野火災を発生させないために、林野火災を拡大しないために

例年、3月から5月は空気が乾燥し、草木が芽吹く前で枯れ草・落ち葉が大変燃えやすいシーズンです。林野火災を発生させないために、拡大しないために気を付けましょう。

1. 燃えやすい枯れ草などのある場所でのたき火は絶対にやめましょう。
2. 市町村や消防本部がお知らせする、気象情報・乾燥注意報・火災警報などに気を付けましょう。

(乾燥注意報)

空気が乾燥し、火災の危険が大きいと予想され、具体的には次の条件に該当する場合発表されます。

気象官署の実効湿度(※)が60%以下で、最小湿度が25%以下になると予想される場合

(火災警報)

空気が乾燥し、かつ風の強いとき等で、火災の危険が予想されるときに消防長が発表します。

※「実効湿度」：木材の乾燥の程度を示す指標。数日前からの湿度を考慮。50から60%以下になると火災の危険性が高まるといわれます。

3. 風の強い時や、空気の乾燥している時には、たき火など、特に屋外で火を取り扱うことは絶対にやめましょう。
4. たき火など、火から離れるときは完全に消火しましょう。
5. たばこの吸い殻は必ず消しましょう。また、投げ捨ては絶対にやめましょう。
6. 子どもの火遊びは絶対にやめましょう。また、見かけた人はやめさせましょう。
7. 林野火災を見つけたらすばやく消防本部(119番)へ知らせましょう。
8. 林野火災が発生した場合、風下などにお住いの方など、危険を感じたらちゅうちょなく避難しましょう。
9. 地域で消火できる体制がある場合は、地域で消火活動を行いましょう。

このページの内容に関するお問い合わせ先

防災課 (災害対策係)

県庁5階 電話番号：058-272-1124 FAX：058-278-2522

[メールでのお問い合わせはこちら](#)

- 令和7年2月26日に岩手県大船渡市において発生した大規模な林野火災を受け、消防庁及び林野庁は「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を開催し、今後取り組むべき火災予防のあり方等について検討を行い、8月に報告書を取りまとめました。
- 本報告書を受け、気象庁は消防庁とともに、記録的な少雨時において火の取り扱いに対する注意喚起を行う新たな取組を開始します。

令和6～7年冬の少雨について

- ・ 令和6～7年の冬は、東日本から西日本の太平洋側で降水量が少なく、統計を開始した昭和21～22年の冬以降で1位の少雨となった。
- ・ 記録的な少雨となった地域で大規模な林野火災が発生した。

期間降水量(平年比)の分布 [P6.12～P7.2]



令和7年の主な林野火災事例 (ha)

No	出火日	市町村	焼損面積
①	2/19	岩手県大船渡市	324
②	2/26	岩手県大船渡市	3,370
③	2/26	山梨県大月市	107
④	3/23	岡山県岡山市・玉野市	486
⑤	3/23	愛媛県今治市・西条市	482
⑥	3/23	熊本県南阿蘇村	220

※ 焼損面積 3,370haは昭和39年以降で最大

検討会において対策を検討

令和8年1月～

① 「少雨に関する気象情報」を利用した

林野火災への注意喚起 [運用期間：1月～5月]

気象庁ではこれまで林野火災を明示した情報を発表していませんでしたが、今後は、記録的な少雨時に発表する「少雨に関する気象情報」において新たに林野火災を明示して火の取り扱いに注意を呼びかけます。

少雨に関する気象情報
令和x年x月x日 ○○管区気象台 発表

○○地方では、1月中旬から降水量の少ない状態が続き、記録的な少雨となっており、
記録的な少雨になった令和7年には、冬から春にかけて大規模な林野火災が多発しました。火の取り扱いに十分注意してください。

(気象情報の例)

② 臨時の記者会見の開催 [運用期間：1月～5月]

少雨の地域に全国的な広がりがある場合には、気象庁は消防庁及び林野庁とともに合同記者会見を開き、気象状況等を解説するとともに林野火災への注意喚起を行う新たな取組を開始します。

③ 林野火災予防ポータルサイトの開設 [12/17公開]

気象庁HPにおいて、乾燥注意報、強風注意報の発表状況や降水量等の各種気象情報を集約した林野火災予防のためのポータルサイトを新たに開設します。

林野火災予防ポータルサイト



④ SNS等による情報発信の強化 [随時]

記録的な少雨時や林野火災の多発時に X(旧Twitter)等を通じた注意喚起を行います。